

2022年度見通し

SF 1st Stageの1年目である2022年度は、「新たな価値創造へのギアチェンジ」を方針に掲げました。これまで培ってきた資産を活用し成長を加速するとともに、将来の成長に向けた投資を着実に実行していきます。製品供給制約の継続、インフレの進行、世界秩序が混乱する中でも変化対応力を発揮しグローバルで旺盛な需要を捉えることで注力事業を中心に成長を目指します。また、SF 1st Stageを成功に導くために、価値創造のあり方をもう一段高いステージへとギアチェンジし、進化させていきます。

2022年度の事業環境は、地政学リスクの拡大、サプライチェーン混乱、インフレ加速、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う都市ロックダウンの影響などの不確実性が継続する一方で、当社グループがアドレッシングする領域では、総じて堅調に推移すると見えています。特に製造業における設備投資需要がデジタル業界などを中心に引き続き堅調に推移し、特に制御機器事業においては、年間を通じて好調な受注が継続する見通しです。培ってきた変化対応力を発揮することで、社会の変化がもたらす事業機会を着実に捉え、力強い成長を実現します。また、SF2030の新たな価値創造に向け、制御機器事業やヘルスケア事業を中心とした成長投資を積極的に実行します。

2022年度は、売上高8,500億円(前年度比11.4%増)、営業利益930億円(同4.1%増)、売上総利益率は、過去最高の45.6%(同0.1ポイント増)を計画しています。2期連続で増収増益となり、営業利益は過去最高を更新する見通しです。なお、不確実性が高い事業環境をふまえ、通期見通しには全社業績変動リスク(売上高100億円減・営業利益40億円減)を織り込みます。

	2021年度	2022年度	増減率
売上高	7,629億円	8,500億円	+11.4%
売上総利益 (売上総利益率)	3,468億円 (45.5%)	3,875億円 (45.6%)	+11.7% (+0.1P)
営業利益 (営業利益率)	893億円 (11.7%)	930億円 (10.9%)	+4.1% (△0.8P)
当社株主に帰属する当期純利益	614億円	630億円	+2.6%
米ドル平均レート	112.1円	121.0円	+8.9円
ユーロ平均レート	130.5円	133.0円	+2.5円
人民元平均レート	17.4円	19.0円	+1.6円

	売上高			営業利益		
	2021年度	2022年度	増減率	2021年度	2022年度	増減率
制御機器事業 (IAB)	4,181億円	4,830億円	+15.5%	763億円 (18.2%)	900億円 (18.6%)	+18.0% (+0.4P)
ヘルスケア事業 (HCB)	1,329億円	1,540億円	+15.9%	185億円 (14.0%)	200億円 (13.0%)	+7.9% (△1.0P)
社会システム事業 (SSB)	877億円	920億円	+4.9%	65億円 (7.4%)	65億円 (7.1%)	+0.0% (△0.3P)
電子部品事業 (DMB)	1,210億円	1,280億円	+5.8%	101億円 (8.3%)	105億円 (8.2%)	+4.1% (△0.1P)
本社他 (消去調整含む)	33億円	30億円	△9.1%	△221億円	△300億円	—
業績変動リスク	—	△100億円	—	—	△40億円	—
合計	7,629億円	8,500億円	+11.4%	893億円 (11.7%)	930億円 (10.9%)	+4.1% (△0.8P)

*制御機器事業の一部商品を電子部品事業に組み替えて表示しています。